【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2009-256340(P2009-256340A)
【公開日】平成21年11月5日(2009.11.5)
【年通号数】公開・登録公報2009-044
【出願番号】特願2009-71889(P2009-71889)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　17/12　　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　25/22　　(2006.01)
Ｃ０９Ｋ　11/06　　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 209/86　　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　　(2006.01)
Ｃ０７Ｂ　61/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　17/12
Ｃ０７Ｃ　25/22
Ｃ０９Ｋ　11/06　６１０
Ｃ０７Ｄ 209/86
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ｂ
Ｃ０７Ｂ　61/00　３００

【手続補正書】
【提出日】平成23年12月5日(2011.12.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アミド結合を有し、前記アミド結合に係わる窒素にヨウ素が直接結合している構造を有する物質であるヨウ素化剤と、酸と、９－アリールアントラセンとを混合することで、９－アリールアントラセンの１０位にヨウ素を導入する９－アリール－１０－ヨードアントラセンの合成方法。
【請求項２】
アミド結合を有し、前記アミド結合に係わる窒素にヨウ素が直接結合している構造を有する物質であるヨウ素化剤と、酸と、溶媒と、９－アリールアントラセンとを混合することで、９－アリールアントラセンの１０位にヨウ素を導入する９－アリール－１０－ヨードアントラセンの合成方法。
【請求項３】
請求項１又は請求項２において、前記ヨウ素化剤がジアシルアミド構造を有する物質である９－アリール－１０－ヨードアントラセンの合成方法。
【請求項４】
請求項１乃至請求項３のいずれか一において、前記ヨウ素化剤がイミド構造を有する物質である９－アリール－１０－ヨードアントラセンの合成方法。
【請求項５】
請求項１乃至請求項４のいずれか一において、前記酸はブレンステッド酸である９－アリール－１０－ヨードアントラセンの合成方法。

【請求項６】
請求項１乃至請求項５のいずれか一において、前記酸は酢酸、硫酸及びトリフルオロ酢酸のいずれかである９－アリール－１０－ヨードアントラセンの合成方法。
【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれか一において、前記９－アリールアントラセンが９－フェニルアントラセンである９－アリール－１０－ヨードアントラセンの合成方法。
【請求項８】
請求項１乃至請求項７のいずれか一に記載の合成方法で合成した９－アリール－１０－ヨードアントラセンと、ハロゲンを有する芳香族炭化水素とをカップリングさせる発光材料の合成方法。